

意見聴取結果

	ご意見(要旨)	中間のまとめ 該当箇所	意見に対する考え方
1 台東区就学前教育・保育の今後の取組みの検討について			
1	本検討会の今後に関しては、現場の幼稚園・保育所・こども園の先生方を委員に交えて、更なる検証を続け実践の場にフィードバックしてほしい。	1頁	本検討会は、今後第1回区議会定例会子育て・若者支援特別委員会で最終のまとめを報告し終了いたしますが、今後の取組みにつきましては、各関係者のご意見も頂戴しながら進めてまいりたいと考えております。
2	本検討会は教育委員会と区長部局で構成されているが現場の実態や考えなどもこの中に反映させて、今後の取組み等について検討することが必要と考える。	1頁	平成24年の「台東区就学前教育・保育のあり方検討についての提言」のご報告の際に、この提言に対して「具体的にどうするかについては、教育委員会がよく議論したうえで進めていくもの」としております。本検討会は、本区における就学前教育・保育の基本的な考え方をもとに平成24年の提言で示された課題に対するこれまでの取組みの整理や、新たに生じた課題の明確化などを行い、具体的な対策について検討する場となりますので、内部委員で構成いたしました。外部関係者のご意見につきましては、今回の意見聴取で頂戴し、中間のまとめから一部修正することで反映させていただきます。いただいたご意見を踏まえて、中間のまとめの1頁今後の取組み「就学前教育・保育施設の適正な提供体制」について、令和6年度策定予定の「子ども・子育て支援事業計画」に「各関係者の意見等」を踏まえることを追記いたします。
2 台東区における就学前教育・保育の基本的な考え方			
3	「ちいさな芽」に関しては、小学校との円滑な接続と共通の考えに立った就学前教育・保育という趣旨は分かるが、幼稚園、保育所、こども園それぞれの特徴、特色を明確に打ち出していくことも必要と考える。	3頁(2)	幼児教育共通カリキュラム開発委員会は、公立小学校と公立・私立の就学前教育・保育施設から選出された委員が協同して、実践事例の開発を行っております。今後も引き続き、「小学校教育と幼児教育の円滑な接続」及び「公立・私立、幼稚園・保育園・こども園の枠を超えた共通の考えに立った教育・保育」と「各園の特徴・特色」といった視点の両立について、検討してまいります。
4	保育ニーズの多様化等に伴い、幼稚園、保育所、こども園が保育内容等を工夫することによって保護者の選択肢が多くなることで、保護者は子供にとって「どの園が良いか」、「小学校入学後の学び」等が気になると考えられる。保育士や教師一人一人が「ちいさな芽」にある小学校教育への接続を意識し重視することで、保護者の不安を解消できるのではないだろうか。	3頁(2)	教員・保育士等における幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」の理解促進に向けては、今後も引き続き、幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」活用説明会や幼児教育共通カリキュラム研修会の充実を図ってまいります。さらに、「ちいさな芽」実践推進訪問を通じて、適切な指導や援助のあり方についての指導・助言を行うことで、学校園における教育・保育の質の向上を図り、保護者の不安の解消につなげてまいります。また、幼児と児童の交流、幼稚園・保育所・こども園の保育士・教員と小学校教員との連携、保護者との連携・理解啓発等の活動を引き続き実施していくことで、小学校への円滑な接続や、保護者の不安の解消につなげてまいります。
5	小学校の低学年の教師にも「ちいさな芽」を意識させる研修を望みたい。	3頁(2)	就学前教育・保育と小学校教育との円滑な接続を図るために、幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」活用説明会や幼児教育共通カリキュラム研修会を、毎年実施しています。なお、研修の対象は、区立幼稚園・保育所・こども園(公設民営2園を含む)の5歳児担任及び区立小学校の第1学年担任としております。
4 「台東区就学前教育・保育のあり方について【提言】」に対するこれまでの対応			
6	「ちいさな芽」の冊子の発行、成果の発信が一方通行にならないよう更に検証してほしい。	9頁(1)ア	毎年実施している幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」活用説明会や幼児教育共通カリキュラム研修会を通じて、内容の周知や活用の推進を図っているところです。さらに、「ちいさな芽」実践推進訪問では、教育支援館長、統括指導主事、研修支援専門員(校園長経験者)等が学校園を訪問し、適切な活用についての指導・助言及び協議を行う機会を設けております。今後も引き続き、活用状況の把握や成果の検証に努めてまいります。
7	「ちいさな芽」に関しては、改正新要領・指針の内容に示された「幼児期までに育てほしい10の姿」の連続性等を土台に幼稚園・保育所・小学校教員の交流による相互理解及び連携の強化を望む。	9頁(1)ア	毎年実施している幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」活用説明会において、区立幼稚園・保育所・こども園(公設民営2園を含む)の5歳児担任、区立小学校第1学年担任が一堂に会し、交流・協議する場を設けております。今後も引き続き、委員ご指摘の内容も含め、より一層の相互理解、連携の強化を図ってまいります。
8	「ちいさな芽」はとても分かりやすい台東区の教育指針であると感じています。今後、「子供を権利主体として捉える視点」、「教育者の人権意識の向上」、「主体的で対話的な深い学び」に繋がる乳幼児保育教育のあり方など、質の向上に向けた更なる充実を望む。	9頁(1)ア	委員ご指摘の内容につきましては、就学前教育・保育の質の向上等に関して、大変重要な視点であると認識しております。今後も引き続き、幼児教育共通カリキュラム開発委員会において最新の教育動向等を踏まえた研究授業や研究保育等を積み重ねてまいります。さらに、適切な指導や援助の参考となる実践事例等の周知を通じて、教育・保育の質の向上を図ってまいります。いただいたご意見を踏まえて、中間のまとめ15頁今後の取組み「教育・保育を支える人材の確保と育成」について、研修に加えて「最新の教育動向等を踏まえた実践事例の開発」も含めて取り組むことを追記いたします。

9	具体的な取組み内容として記載されている忍岡こども園・忍岡小学校・上野中学校の校種間接続はよい取組みだと考える。今後予定されている他校園の校種間接続があれば聞きたい。	10頁(1)イ	忍岡小学校は、2年間の国立教育政策研究所との研究成果を生かし、近隣学園園と異校種間連携を継続しております。他校園においても、「連携の日」や「中学校を見に行こう」等の交流を行っているところです。さらに、小学校では小学1年生が幼稚園年長園児を対象に小学校案内したり、連合運動会の直前には中学校陸上部が小学生に出前授業を行ったりする等、校種間接続のための交流を行っております。
10	スムーズな進級、進学に備えた連携の日を増やすことが教員の負担にならないよう人員の整備をすることが必要だと考える。	10頁(1)イ	本「連携の日」事業に限らず、副校長補佐・スクールサポートスタッフ等補助要員の配置により、教員の負担軽減を図っているところです。
11	保育施設の増加に伴う質の低下がないように注意、管理が必要だと考える。	11頁(2)ア	私立保育所の処遇改善や保育士等の人材確保のための支援を行うとともに、研修等の拡充による保育士育成の取組みや、指導監査の実施、巡回訪問の拡充等により、保育の質の確保・向上に今後も努めてまいります。
12	多くのマンションができています。子育てのしやすい台東区として住み続けていけるようになってほしい。	11頁(2)イ	資料でお示した通り、就学前教育・保育施設の適正な提供体制については、園児数の動向・地域や年齢のニーズなどの検証に加え、人口推計や令和5年度実施予定の次世代育成支援に関するニーズ調査等の結果を踏まえて、検討してまいります。
13	家庭内保育、小規模保育も含め待機児童の減少がある一方、幼稚園の園児減少がある。様々な保護者のニーズがあることを踏まえ、より柔軟な体制づくりを検討し実践する必要がある。待機児童がここまで減少した時点だからこそ可能かと考える。	12頁(3)ア	委員ご指摘のとおり、幼稚園の園児数は減少傾向にあります。区立幼稚園においては保護者のニーズに対応するため、お弁当給食や預かり保育を試行しました。また、就学前教育・保育施設の適正な提供体制については、次世代育成支援に関するニーズ調査等、保護者のニーズの的確な把握に努め、より柔軟な体制づくりについて検討を行ってまいります。
14	病児（発熱など体調を一時的に崩した）保育の体制も考えていけると良い。	12頁(3)ア	病気やけがなどで登園させることが困難な場合等に、民間事業者によるベビーシッターの派遣による病児保育サービスを受けた利用料について、経費の一部を助成することにより、保護者の子育てで就労の両立等を支援しております。
5 新しい課題と今後の取組み			
15	急増した私立保育所（小規模保育施設を含む）に対して、保育の質の向上に資する施策の充実を望む。特に小規模園は環境も様々で、人員確保も苦労している園も多々あるかと思う。経営者は人員確保等の運営で余裕がない状況もあるため、訪問指導の充実や研修機会の確保に対するバックアップできる施策を検討してほしい。	15頁(1)	資格取得支援事業や宿舍借上げ支援事業等による保育士の人材確保に向けた支援を継続するとともに、研修等の拡充や、指導監査・巡回訪問の実施により、保育の質の確保・向上に努めてまいります。
16	医療的ケア児の対応は、まず区立幼稚園・保育所・こども園・小中学校で連携を深め課題を検証しつつ進めてほしい。	15頁(1)	一人一人の医療的ケアの状態やニーズに応じた切れ目ない支援を行うためには、委員のご意見のとおり、区立幼稚園・保育所・小学校・中学校の連携は重要と考えております。また、医療的ケアを実施するにあたっては、施設面や看護師の配置等、課題も多いと認識しております。現在、教育委員会内で各施設での実施における課題等について検討を進めているところですが、各関係者から意見等を聴取しながら丁寧に検討を進めていく必要があると考えております。
17	台東区には、歴史のある寺社や古い街並み、様々な商店街等がある。見る、触れる、描く、遊ぶ等の体験を繰り返すことで台東区の地域性を感じ取る学びの素地ができるのではないかと考える。実施にあたっては保護者やボランティアの協力を得ることで保育内容に幅と変化をもたらすものとする。	15頁(1)	幼児教育共通カリキュラム「ちいさな芽」で重視する内容「6つの取組」のひとつに「地域財産等の活用」が挙げられており、台東区の歴史や伝統文化、季節の折々の地域行事等を生かした事例については、『事例集』に複数掲載されております。こうした事例を参考にしながら、地域やボランティア等の実態を生かした教育・保育が展開されるよう、引き続き各校園への周知・活用の推進に努めてまいります。
18	園児と高齢者の交流は、普段経験のない園児にとって新鮮な触れ合いの場になると考える。負担にならない形で実施してはどうか。	15頁(1)	学びのキャンパス台東アクションプランの施策「人と人との絆づくりの推進」の取組みに、シニア世代を含めた幅広い世代の方々に伝統、芸能、遊びなどを教えていただき様々な体験や交流を図る「いきいき台東っ子応援団」や園児が地域の高齢者施設を訪問するなど、高齢者との交流を図る「世代間交流・地域交流」がございます。今後も引き続き、地域と園児との交流を推進してまいります。
19	区立幼稚園の預かり保育の試行は評価できるものと考えており、課題を整理し更なる充実を求めたい。区立幼稚園の質の高い保育を区民の方々に提供できる機会を増やしてほしい。幼稚園の保育は地域の素晴らしい教育の社会資源であり有効に機能できる施設を更に充実してほしい。（子育て支援機能を含む）	16頁(2)	区立幼稚園における預かり保育は、令和3年度に保護者のニーズに対応するため試行を始めました。令和4年度からは就労等で保育の必要性がある場合でも幼稚園を選択できるように試行内容を拡充します。今後どのように進めていくかは、試行の効果を検証しながら検討してまいります。